

木津川市

第21号

議会だより



本会議	2・3	常任委員会	7・8
政務調査費	3	クリーンセンター建設特別委員会	8
請願・意見書	4	議会報告会	9
採決結果	5	一般質問	10～18
組合議会報告	5	次回議会日程他	19
補正予算特別委員会	6	わたしの意見	20

夏を満喫

(やましろ保育園)

推進に向けて

6月定例会は、6月8日から28日までの21日間の会期で開催した。同意5件・承認10件・諮問2件・議案7件・請願1件・発議3件を審議し、同意・承認・可決・採択した。

企業立地に助成

市内の準工業地域等に本店・工場・研究所等を設置する企業に対して、助成を行なうもの。(5年間の期限付き条例)

助成額は操業支援のため、3年間で上限1億5000万円。本条例の制定により地域経済の活性化・雇用創出に期待。

酒井・西山より交付限度額引き下げなどの修正動議が提出された。

Q 上限額を5000万円にする根拠は。
A ロート製薬のような大型の進出が見込めず、1/3でも十分対応できる。

討論

原案賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

原案賛成

企業立地の促進により、まちの賑わいや雇用を創出しながら長期安定的な自主財源を確保し、市民サービスの向上につなげる制度であり、賛成。

吉元 善宏

修正案賛成

正規雇用と障がい者雇用を義務づけるべき。自治体間競争をおおる破格の助成金は問題があり、市は地元中小企業をもっと応援するべき。

西山 幸千子

修正案は賛成少数で否決
(賛成2人・反対21人)



企業立地の弾みに (木津南地区)

通学路の安全対策に

24年度一般会計補正予算は、収入支出に4026万円を追加し、総額268億9426万円とした。

主な補正内容は、木津中学校改築に向けた土壌汚染調査やクラブ活動にともなうバス運行費に806万円。有害鳥獣対策事業に716万円。

通学路危険箇所看板設置費50万円。

盗難による消火栓ボックス備品の補充に189万円。

(6ページ参照)

全員賛成で可決

人事案件

人権擁護委員

三浦 孝啓(加茂町)

岡本かをる(加茂町)

議員表彰受ける

全国市議会議長会会長表彰

中野 重高

の企業誘致へ

専決処分10件を承認（税条例・都市計画税条例・23年度一般会計補正予算など）

地方税法改正にともなう市税条例の改正

主な改正内容は、固定

資産税及び都市計画税の24年度の評価替えに当たり、原則として従来の土地に係る負担調整措置等を継続することとした。

また、震災関連として震災で被災した居住用家屋の敷地に係る譲渡期限の延長、住宅再取得時の住宅ローン控除の特例など。

Q 本市に震災関連の該当者はいるか。

A 該当者はいない。

全員賛成で承認

基金繰入金の大半を基金に戻す

23年度一般会計補正予算第6号は、事業費の確定などにより7億75万円

減額した。5億3302万円を取り崩していた基金を5億2987万円戻した。

また、清掃センター建設整備基金積立金など1億9340万円を基金に積立てた。

全員賛成で承認

介護保険特別会計4900万円の減額

前期介護保険福祉計画で見込んだ予算よりも実績額が少なかったため減額。

Q 介護サービス給付費の減額は、利用者減か利用抑制によるものか。

A 要因については検証が必要。

全員賛成で承認

平成23年度政務調査費報告

政務調査費は、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における会派及び議員に対して交付されるものです。交付額は、会派に対しては、会派の所属議員数に月額10,000円を乗じた金額を、無会派議員に対しては、月額7,000円が交付される制度です。（平成23年4月24日の市議会議員選挙による改選に伴い表中平成23年4月分と平成23年5月～平成24年3月分は別掲となっている。）（単位：円）

会派名・議員名		所属議員名	使途					合計	政務調査費交付額		
			調査研究費	研修・会議費	資料作成費	資料購入費	広報費			事務費	
平成23年4月分	民主改革クラブ	大西 宏 炭本 範子 伊藤紀味枝 七条 孝之 深山 國男 西岡 政治 山本 喜章 中野 重高 倉出 克伊 阪本 明治 栗 伸幸 吉元 善宏 尾崎 輝雄	—	—	—	—	—	1,198	1,198	1,198	
	さくら会	高味 孝之 曾我千代子 木村 浩三 中谷 裕亮 宮嶋 良造 森岡 譲 酒井 弘一 村城 恵子 織田 廣由 島野 均	—	—	—	—	—	1,198	1,198	1,198	
	イレブンの会	高味 孝之 曾我千代子 木村 浩三 中谷 裕亮	—	—	—	—	—	1,198	1,198	1,198	
	日本共産党木津川市議員団	宮嶋 良造 森岡 譲 酒井 弘一 村城 恵子	—	—	—	—	—	24,613	24,613	24,613	
	公明党	織田 廣由 島野 均	—	—	—	—	—	1,198	1,198	1,198	
	小計		—	—	—	—	—	29,405	29,405	29,405	
平成23年5月～平成24年3月分	会派	さくら会	倉山 克伊 高岡 伸行 本 和延 伊藤紀味枝 吉元 善宏 尾崎 輝雄	124,020	—	—	14,800	417,027	31,100	586,947	586,947
		民主改革クラブ	西岡 政治 河口 靖子 炭本 範子 七条 孝之 中野 重高	181,200	600	—	9,600	362,596	102,100	656,096	500,000
		きづがわ未来クラブ	高味 孝之 兎本 尚之 長岡 一夫 西岡 努 島野 均 柴田はすみ	76,320	—	1,800	19,210	274,098	39,616	411,044	411,044
		公明党	酒井 弘一 西山幸千子	80,160	47,315	—	70,279	—	24,259	222,013	220,000
		日本共産党木津川市議員団	酒井 弘一 西山幸千子	—	34,600	—	2,200	152,226	120,334	309,360	220,000
	議員	曾我千代子		—	—	—	70,500		6,840	77,340	77,000
		深山 國男		22,280	—	—	36,770		—	59,050	59,050
		谷川 光男		22,280	—	—	48,420		930	71,630	71,630
		片岡 廣		—	—	—	42,420		—	42,420	42,420
		小計		506,260	82,515	1,800	314,199	1,205,947	325,179	2,435,900	2,188,091
合計			506,260	82,515	1,800	314,199	1,205,947	354,584	2,465,305	2,217,496	

※ 収支報告書の提出の際には、領収書の添付が義務付けられています。（ただしローカル線の切符代は除く）

※ 広報費の1/4は自己負担としている。

意見書

「こころの健康を守り推進する推進基本法」を求める

厚生委員会より提出。
こころの健康と精神疾患対策に、地域医療・職場・学校での連携体制が必要である。

Q 一部の病院現場から早期の投薬治療を危惧し、反対する意見書が出ているが。

A 委員会としては、陳情に基づき審査し提案した。

反対討論

こころの問題の早期発見・早期介入必要との方針が進み、早期の薬漬けを生む危険性を危惧。既存の法律で対応可能。立法により混乱を招く。

呉羽 真弓

賛成多数で可決

(賛成21人・反対2人)

原発の安全確保と災害対策強化、脱原発の取り組みを求める

呉羽他4人より提出。
①原発を減らす計画と仕組みづくりを急ぐこと。

②今後、原発の安全確保と災害対策を強化し、最小限の再稼動を求める意見書。

Q 知事が言う限定付稼動に近い内容だ。もっと強く国に対して訴えては。

A 国民の多くは安全な未来を願っている。福島 の教訓が生かされるべき。

Q 国への働きかけは必要だが市民も節電や電気の値上げも含めての覚悟が必要では。

A 国民の多くは覚悟があると思ふ。

賛成多数で可決
(賛成15人・反対8人)

東中央線の事業推進と予算確保に関する



一体的な整備が待たれる東中央線

倉他9人より提出。
天神山線と一体的な整備で、沿道環境の改善と緊急路の確保のために、
早期完成を望む。

全員賛成で可決

請願

旧鹿背山ゴミ焼却場跡地の安全確認と適切な処置を求める

請願者

鹿背山区長 矢田本房和
〃 副区長 絹谷 義隆

紹介議員

西岡 努

請願項目

鹿背山区をはじめ、木津川の水利を活用する市民が健康で、安全・安心

に生活を営むため清掃センター建設の有無にかかわらず、旧鹿背山ゴミ焼却場の汚染土壌及び埋蔵廃棄物の安全確認並びに適切な処置につき早期に対応すること。

Q 委員会では質疑の中で請願内容と食い違う発言があったように思うが。
A 委員会では、請願の内容どおりの審査を行なった。

賛成多数で採択

(賛成22人・反対1人)

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載 賛成＝○ 反対＝× 退席＝△ (会派ごと)

議員名	会派名	議 案 名 （第2回定例会）					
		木津川市企業立地促進条例の制定について	木津川市企業立地促進条例の制定についてに対する修正動議	旧鹿背山ゴミ焼却場の汚染土壌及び埋蔵廃棄物の安全確認並びに適切な処置につき早期に対応することを求める請願書	「こころの健康を守り推進する推進基本法」（仮称）の法制化を求める意見書について	原子力発電所の安全確保と災害対策の強化を求め、脱原発に向けた取り組みを求める意見書について	
高岡 伸行	さくら	○	×	○	○	×	
山本 和延	さくら	○	×	○	○	×	
伊藤紀味枝	さくら	○	×	○	○	×	
倉 克伊	さくら	○	×	○	○	×	
吉元 善宏	さくら	○	×	×	○	×	
河口 靖子	民 主	○	×	○	○	○	
炭本 範子	民 主	○	×	○	○	○	
七条 孝之	民 主	○	×	○	○	○	
西岡 政治	民 主	○	×	○	○	○	
中野 重高	民 主	○	×	○	○	○	
兎本 尚之	きづがわ	○	×	○	○	×	
長岡 一夫	きづがわ	○	×	○	○	○	
西岡 努	きづがわ	○	×	○	○	○	
高味 孝之	きづがわ	○	×	○	○	○	
島野 均	公 明	○	×	○	○	×	
柴田はすみ	公 明	○	×	○	○	×	
酒井 弘一	共 産	×	○	○	○	○	
西山幸千子	共 産	×	○	○	○	○	
呉羽 真弓	無会派	○	×	○	×	○	
曾我千代子	無会派	○	×	○	○	○	
深山 國男	無会派	○	×	○	×	○	
谷川 光男	無会派	○	×	○	○	○	
片岡 廣	無会派	○	×	○	○	○	

※議長は採決に加わらない
さくら＝さくら会 民主＝民主改革クラブ きづがわ＝きづがわ未来クラブ 公明＝公明党 共産＝日本共産党木津川市議員団 無会派＝会派に属さない議員

組合議会報告

10月7日に
60周年記念式典

高齢者向け啓発
パンフレットを作成

消防車両を
順次更新

(山城病院組合)
5月15日に臨時会が開
会。
議会運営委員に青山ま
り子氏(南山城村)、監
査委員に北猛氏(南山城
村)が選任された。
24年度補正予算は、夜
間看護手当増額の条例改
正による給与費1500
万円を増額。宿舎の売却
で充当する予定で賛成多
数で可決した。
診療報酬の改定による、
病院ならびに介護老人保
健施設の使用料等の徴収
条例の改正の専決処分は
全員賛成で承認した。

(相楽郡広域事務組合)
5月17日に臨時会が開
会。
議会運営委員の選任が
あり、委員長に西岡努氏
(木津川市)、副委員長に
佐々木雅彦氏(精華町)
が選任された。
監査委員に新田晴美氏
(南山城村)を全員賛成
で同意した。
24年度補正予算は、消
費生活センターの啓発の
ために100万円を増額
し、6億1600万円と
するもので、全員賛成で
可決した。

(相楽中部消防組合)
5月25日に臨時会が開
会。
議案3件・承認1件を
審議した。
入札の結果を受け、救
助工作車を8874万6
千円、消防ポンプ自動車
を3702万3千円で購
入する議案は、全員賛成
で可決した。
火災予防条例の一部改
正と23年度補正予算第3
号号について審議し、全
員賛成で可決・承認した。

※公募により病院名を変
更し、10月の60周年記念
式典で発表予定。



前回のプレミアム商品券販売

Q プレミアム商品券の発行の補助150万円について詳しく説明を。
A 商工会が実施する商品券3000万円の10%上乗せ分に対し、1/2の補助を行う。
 詳細は商工会が決める。府の介護保険返戻地域活性化事業にも対応し、対象者203人の高齢者へ3万3000円分の商品券を支給する。

Q 城山台の小学校用地購入の金額変更は納得できない。説明を。
A 補正額はURからの要求額となった。しかし、これは上限であり、しっかり折衝していく。

Q 鳥獣被害は深刻。サルの監視は。
A 全市の見回りを加茂の猟友会に委託する。2人体制で7月から12月末までの半年間行う。

Q 消防備品の盗難にどう対処するか。
A パトロールと点検を強化する。簡先はアルミ製へ切り替える。

Q 狩猟免許取得への助成の目標は。
A 5カ年計画で毎年5人へ助成する。助成額は免許取得費用の全額、猟銃購入費の半額。

Q 危険箇所への対策を検討する。緊急なものは予算を執行して対応する。

補正予算の主な事業

- ・有害鳥獣対策事業 716万6千円
- ・新設小学校用地事業（債務負担行為補正）
 変更後限度額 10億2370万8千円

主 な 質 疑

6月18日、補正予算特別委員会を開会。4026万円を追加し、24年度予算額を268億9426万円とするもの。全員賛成で可決した。

2年ぶりにプレミアム商品券を発行

補正予算特別委員会

委員長
副委員長
委員

酒井 弘一
高岡 伸行
河川 靖子
柴田はすみ
伊藤紀味枝
倉 克伊

七条 孝之
西岡 政治
深山 國男
谷川 光男
西岡 孝之
高味 孝之

企業立地の助成を拡大

総務文教委員会

6月12日に委員会を開会し、議案2件を審査した。

全議案可決

企業立地を促進

市外からの企業のみでなく、市内にある企業で、新たな事業所の設置や拡大に助成を行うもの。

Q パブリックコメントの内容は。

A 3月15日から1カ月間公募。1名、5件の意見があった。

意見も踏まえて整理はしたが、企業個々の状況があり難しい。

Q 他市町と比べ、助成金が高額だが。

A 市内の誘致の面積が大きく、企業の投資も多額であり、必要な助成。

Q 地元の雇用の状況は。

A 正社員30人、パート16人、障がい者は、ゼロ。府の助成でカバーできない部分を市が助成する。

全員賛成で可決

再稼動に対し、 陳情を審査

放射能から子どもを守る



新たに活用される清水集会所

る会、川口健次さんによる陳述を受け、質疑、採決した。

Q 電気不足への考えは。

A 他の発電や他社融通で対応が可能。

Q 安全が優先という考えか。

A 現時点での再稼動に反対。
賛成少数により委員会として意見書をあげることはしないこととなった。

印鑑条例を一部改正

Q 登録は、通称名と氏名どちらか選べるのか。

A 通称名と氏名を組み合わせたものでも登録できる。

Q なぜ国は、法律を改正するのか。

A 外国人の不法滞在を防ぐため。

Q 市への影響は。

A 市内には、467人の外国人の方がいるが不法滞在者はいない。

全員賛成で可決

適切な処理を求める 請願を採択

厚生委員会

6月13日に委員会を開会し、議案3件、請願1件を審査した。

全議案可決

清水集会所の 目的を変更

Q 清水集会所は、今後どう活用するのか。

A 障害者の基幹相談支援センターとして利用する。

全員賛成で可決

鹿背山区からの 請願を審査

旧鹿背山ゴミ焼却場の汚染土壌廃棄物の安全確認並びに適切な処理につき、早期対応を求めた請願を審査した。

Q 安全確認並びに適切な処理とは。

A 請願の文言のとおり。

全員賛成で採択

木津駅前に災害 対応型の公園

産業建設委員会

6月14日に委員会を開会し、議案1件を審査した。

全議案可決

都市公園条例を改正

JR木津駅西口広場の一部を「街区公園」とするもの。

Q 空き地のような何もない空間でも公園と云うのか。

A 駅前区画整理で公園の設置は義務付けられている。区画面積の3%を公園とした。

面積は1550㎡と狭

いが、防災的位置づけの公園とした。地下に100トンの耐震性貯水槽、災害時にかまどとして使用できるベンチと移動可能なベンチを配置した。

全員賛成で可決

繰越は妥当か

城山台の上・下水道工事が遅れ、工事費を全額繰り越すもの。



木津駅西口公園

Q 毎年繰越の事態が続いている。何が原因か。工事はURに委託している。厳しく期限内の完了を求めよ。

A 25年には完了させるよう求めていく。

さらなる土壌調査を予定

クリーンセンター建設特別委員会

6月19日に委員会を開会。24年度の取り組み状況（廃棄物、土壌対策）について説明を受ける。

主 な 質 疑

Q 鹿背山区の請願についてどう思うか。

A 非常に重いもので、請願にそって進める。地元と話し合いをする。

Q 建築と敷地造成の発注はどうするのか。

Q 今の段階で基準を超えているがどうなのか。

A 今年度は、施設基本設計は発注仕様書レベル、敷地造成計画は実施設計レベルでとりまとめる。今後検討する。

A 土壌汚染対策法での溶出基準を超えているが、第二溶出基準内であるため、直ちには、周辺環境には影響がない。

Q 基金は今後どれくらい積むのか。

第3回

議会報告会を開催

3月定例会における審議結果などの概要説明後、市政全般にわたり意見交換を行った。

日時：5月26日(土)
午後1時30分～3時15分
会場：市役所
(担当議員6人)
参加者：6人

Q ガーデンモール内にある観光協会の場所は、駅前でないので利用しにくいのでは。

A 予算の関係で開設を急ぐ必要があったが利用者の観点で、議論が必要。

Q 議会だよりの内容を市民に理解してもらうために、どのような紙面づくりをしているのか。

A ページ数や字数に制限があるが、公平公正に

今後わかりやすい紙面づくりに努める。



日時：5月26日(土)
午後7時30分～9時30分
会場：相楽台小学校
(担当議員6人)
参加者：8人

Q 徳州会病院が開業されないことにより、救急医療体制の不備が続いていると考えるが。

A 山城病院が地域医療の期待にこたえるように、組合議会でもしっかり議論していく。

Q 二元代表制であるのに、報告が行政の代弁者のように聞こえる。

A 議員間での討議はどのように行なっているのか。

A 報告会では、審議の様子を含む結果を報告している。

また、委員会では自由討議も行なっており、討論も含め活発に議論している。



日時：5月26日(土)
午後7時30分～8時55分
会場：アスパアやましろ
(担当議員6人)
参加者：6人

Q コミュニティバスをもう少し利便性のある方向で考えてほしい。

A 地域公共交通総合連携協議会で検討されている。

Q 市の土地を職員駐車場にしていることは良いのか。

A 駐車料金を徴収している。このことを一般質問で取り上げている議員もいる。



日時：5月27日(日)
午後7時30分～9時30分
会場：加茂文化センター
(担当議員6人)
参加者：8人

Q 議会だよりで議会報告会のまとめが掲載された。

また、市長に対し文書で報告書が提出され、前回の報告会で指摘したことが実現している。

A これまでどおり期待に答えていきたい。

Q 支所の縮小は問題である。

A 職員数が減る中、支所機能の縮小となったもの。議員間でも意見の相違がある。

Q 「ぎつつ光科学館ふおとんの継続を求める意見書」に関して、原子力関連施設の継続を求めることはいかがなものか。

A 体験型展示施設であり、原発とは別物で、科学に興味をもたせる大切な施設である。



市長に概要報告

7月10日、正副議長と議会運営正副委員長の4人は、今後の市政運営に生かすべく、市長に報告会の実施報告書(市議会HPに掲載中)を手渡し、意見交換の状況を報告した。

里親制度は後退した

旧3町で統一したのだ

Q 市の緑地の竹の伐採や下草刈りなど5年間続けてきたが、この度、仕事の本庁舎に移ったとたん、市は草刈り機を貸さないと言いだした。借りることができなければボランティア活動ができない。

A 生活環境部長 貸す

Q 里親制度の趣旨に反する。「市民は労力を提供し、市は道具を貸す」ことが里親制度の真髄だ。業務の見直しで、旧3町統一して草刈り機を貸さないとした。

Q 市は、5年前に合併して一つになったのだから、加茂駅の駐車場、駐輪場だけ有料なのはおかしい。

A 総務部長 管理人を置いていたので有料だ。

加茂駅の駐車料金を安く



深山 國男

Q 借金も資産も両方持ち込んで三町合併したのだから市全体で支え合うことにならないか。

A 総務部長 借金が終わるまで有料とした

Q 加茂駅付近の民間の駐車場は1日預けても300円だ。一方、市の駐車場は750円だ。市民の負担が大きすぎる。

A 総務部長 料金のあり方は今後検討する。



市営駐車場・駐輪場の統一を

公契約条例の制定を

近隣市町村の動向を見ながら検討

Q 国・地方自治体では、入札改革が進む一方、発注量が減少し、行き過ぎた低価格競争により、事業の質の低下と公契約の下で働く人にしわ寄せされ、結果、地域経済に悪影響を及ぼしている。そこで、市内企業者の受注機会の増大、労働環

境の整備等々進めるため公契約条例の制定が必要と考える。

A 建設部理事 府・近隣市町村の動向を見ながら検討したい。

防災対策は万全か

Q 昭和28年8月の南山



民主改革クラブ
西岡 政治

城水害で、山城地域の天井川堤防決壊し、尊い命が失われた。あの苦い経験と教訓が忘れられようとしている。そこで、

①天井川（特に上流部）の管理に問題はないのか。

②砂防・治山堰堤の現状と今後の対策は。

③天井川決壊時の避難場

所は。

A 建設部理事 ①指摘の場所を確認し対策を考える。②改正設置基準に基づき府が整備を検討中である。

市長 ③水害時を考慮した避難場所の再提案をしたい。

建設部理事 ④管理は地域で、資器材は確認し、適宜補充する。

④管理は地域で、資器材は確認し、適宜補充する。



天井川の防災対策を

学校給食に安全な木津川市産を

関係団体と協議を進める

Q 給食センター別に、地元産食材をどれくらい使用しているのか。パン食と米食の割合は。

A 教育部理事 米飯では、山城給食センターと加茂給食センターが100%、木津給食センターが31%。副食は各センター別で月平均12回、3

回、2回程度。パン食と米食の割合は、各センターとも週15回対3.5回である。

Q 地元産をさらに増やすよう、関係団体に1年計画で依頼しては。

A 教育部理事 農政課がJAや農家、各生産部会などと協議し、学校

給食の地産地消を推進していく。



さくら会
山本 和延

Q 市民農園を活用せよ

A 建設部理事 中央体育館東側農園153区画、木津川農園48区画



公用車に広告を

小規模開発時の安全対策の指導は

地元に負担をかけない開発指導

Q 亀岡市での登校中の事故を見て、児童らの安全確保の取り組みを。①小規模開発が各地で増えている。全体的な都市計画がなされているのか。②乱雑な小規模開発で、いびつな道路となる危険性がある。官民一体となり取り組むべき。③地元

の意見を聞き入れて、開発時に、カーブミラーや防犯灯など必要ならば、先に設置を。④26年に全面改築の木津中学校南側道路は無秩序な開発で危険である。今後の整備は。

A 建設部理事 ①周囲の土地利用も含めて指導している。②現場確認を重視し、事業者に対し、対応を指導していく。



さくら会
伊藤紀味枝

Q 有料広告で財源確保を。①公用車に有料広告を貼付しては。②庁舎内に掲示を。③交流会館等には。④JR木津駅・加茂駅の自由通路に掲示を。

A 総務部長 ①他市の動向を見極める。②玄関マットなど考える。③スポーツ施設等は前向きに考える。④費用対効果から厳しい。



市民農園の活用を

予防接種の財源確保を

府を通じて財源確保を要望する

Q 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチンが定期接種になると、市の負担が増える。財源確保はどのように考えているか。

措置を要望していく。

Q その補助金額は。

A 保健福祉部理事 23 年度の決算額では約 7000 万円。

消えた小中学生問題

Q 居所不明の小中学生問題への対策は。

A 教育部理事 市では、居所不明の小中学生は存在しない。

「木津川市要保護児童対策地域協議会」を設置し、常に関係機関と情報交換など連携をしている。

電気と地球温暖化対策

Q 原子力発電所の状態



きつがわ未来クラブ

兎本 尚之

を考えると、同じ電気使用量でも温室効果ガス量・電気使用料は増加すると考えられる。

対策は考えているのか。

A 市長 指摘のような安易な電気料金の値上げ等は、市だけが影響を被るものではないので、府や他の市町村とも連携し、時には国等への要請も含めて対応していきたい。



温室効果ガスは増えないか



健康は仲間とともに

安心・安全で健康な木津川市とは

市民グループと連携してすすめる

Q 登下校の安全対策と見守り隊や安全教育は。子どもの視点も大切では。

A 教育長 安全看板の設置とボランティアの方に感謝しながら、連携の強化が大切である。子どもの視点も大事であるから指導したい。

Q 孤独死の対策方法とふれあいセンターのバリアフリー化の今後の推進は。

A 保健福祉部長 玄関に目印や緊急通報システムの設置を周知する。トイレの改修と階段の手すりの付替えを行う。山城病院の受け入れ強化と健康自治体を



民主改革クラブ

河口 靖子

めざす考えは。

A 市長 管理者として、意見を山城病院に十分提案する。

A 保健福祉部長 すこやか木津川21プランの実践の具体案を市民グループと連携し考える。

Q 全国で一番医療費の保険者負担額の少ない、長野県との差額は26

万円以上もあり、もっと医療費を抑制すべき。

A 保健福祉部長 今年1年かけ、健康づくりの施策を検討する。

まちおこし、当尾活用

Q 木津川アト旧当尾小編は、地元との協力体制をどう進めるのか。

A 生活環境部長 今後も、当尾通信を中心に周知を考えて行く。地域と密にして進める。

Q 簡易裁判所の移転計画は。移転の交渉はしているのか。
A 総務部長 現時点で移転の計画はなく、交渉はしていない。
Q 拠点整備の中で簡易裁判所の位置づけは。
A 総務部長 都市拠点の整備を、簡易裁判所とともに図る。

Q 簡易裁判所が隣接している事について思いは。
A 市長 庁舎と一体の感じであり、今の状況で良い。
Q 拡幅に協力頂いた市民への思いは。
A 市長 協力に感謝している。

Q 簡易裁判所の誘致の考えは。
A 府南部地域に地・家裁支部がゼロの現実をどのように思うか。
A 市長 現状また必要性について京都弁護士会、関係自治体と意見交換している。
Q 南部への設置は、時間短縮や効率化が図

れ便利だ。
A 市長 京都弁護士会が南部への地・家裁支部設置に向け、取り組みを進めている。市も十分注視していく。
Q 裁判所支部誘致は自治体の格付けの一部である。
A 市長 まちの核として裁判所の位置づけは大きい。



庁舎周辺の整備計画は

庁舎周辺の整備計画を問う

簡易裁判所の移転計画はない



民主改革クラブ
七条 孝之



官製ワーキングプアを生んでいないか

Q 学校警備委託は、競争が激しく、5年間で10%も低下した。①警備員の賃金や交通費支給の有無など実態の把握は。②市では、労務型業務に、最低制限価格を設けていない。必要だ。③公契約条例を制定し、官製ワーキングプアを防げ。

A 市長・教育長・建設部理事 ①把握はしていないが、適正。②今は導入を考えていないが、検討する。③労働者へしわ寄せがいかないよう、検討する。

公契約条例の制定を

すぐには制定しない

Q 障がい者の就労支援を
 ①市には、障がい者の就職支援である交通費助成がない。ニーズはあるか。②実施自治体は。③市でも制度化すべき。
A 市長・保健福祉部長 ①ニーズは把握。②府内、7市5町が実施。

Q PTA会費の使い方が全国的に問題となった。
 原則は公費である。適正な処理と公費・私費区分の指針を作るべし。
A 教育長・教育部理事 寄付の手続きは、不十分な部分ある。時間をかけて、検討を進める。



呉羽 真弓

③今は考えていない。市内での働く場づくりに、積極的に取り組む。
 PTA会費活用はないか

高齢者の見守りと生活支援強化を

ネットワーク会議など支援を構築

Q ①「買い物難民」の把握と市内業者への支援や、商工会との連携強化は。②「孤独死」対策として、今日までの把握と支援するネットワーク会議の構築を。

A 生活環境部長・保健福祉部長 ①流通や交通の弱体化で買物弱者

が増加。社協などの取り組みで、セーフティネットは確保。今後、商工会などと、連携を強化していく。②民生児童委員等が、状況を把握している。本年の執行目標のネットワーク会議をスタートし、社協・民協・自治会などと支援の仕組みを構築



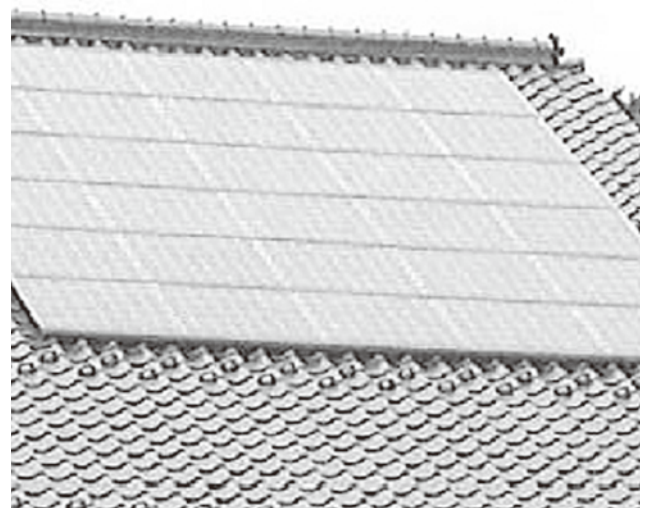
さくら会

倉 克伊

容は、国の制度が基本か。これらの実施の時期は。市長・生活環境部長・総務部長 耐震助成の方向。簡易耐震など他の自治体を参考に制度を考える。

Q 住宅改修と太陽光発電は。市長の考えは住宅改修か耐震の助成か。修か耐震の助成か。簡易耐震助成が府内自治体で実施をしている。市民の使いやすい方法を考

えては。太陽光発電の助成の内



再生可能資源の活用を

国保の黒字を市民に還元せよ

小刻みな税の上げ下げはしない

Q 2年連続2億円の黒字は、大幅な値上げと市民の健康管理による努力の結果。ぜひ市民に還元を。

A 保健福祉部理事 今均等割の減額を実施せよ。後現行制度で対応する。

A 市長 右肩上がりの医療費増の中、軽減措置は考えていない。

Q 市独自の減免や、18歳以下と60歳以上の

Q 障がい者への就労支援市内に働く場が少ない。収入よりも支出が多い障がい者に、近隣でも行っている通勤補助

市民サービスの継続を

Q 地域包括支援センターは、職員のノウハウを生かし進めるべき。安易な外部委託は公正中立でなくなる事が心配。

（他に、新設小学校に自校式給食の検討を求めた。）



日本共産党

西山幸千子

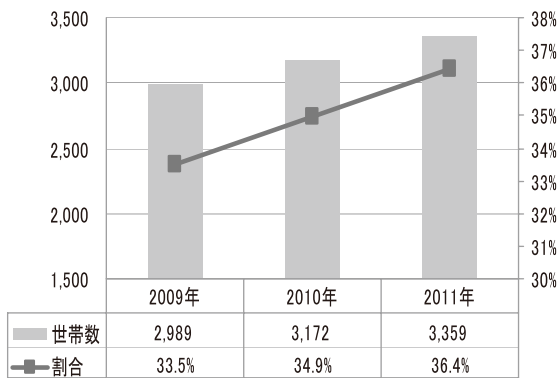
A 保健福祉部長 市が責任を持って対応する。委託は府下の事例を見て慎重に進める。現場の声を聞かずに小学校の警備員配置の予算を縮小した。安全を重視し、学校で差を付けるな。

A 市長 働く場の早期実現をめざす。

A 教育長 機械の導入や、警察・地域の協力を得て効果的な防犯対策を検討中。

（他に、新設小学校に自校式給食の検討を求めた。）

世帯 所得なしの世帯数と割合の推移



増え続ける国保加入の所得なし世帯



老朽化した公共施設の対策を

市の防災減災ニューデールを

年次計画を策定し順次対応する

Q 市の社会資本（橋梁、道路、管理施設）が、太陽光発電やマンホール

老朽化している。防災減災ニューデール（新規まき直し）対策で、市民の命を守れ。

A 市長・総務部長・教育部長 市営住宅は、ストック計画を策定する。教育施設は、総点検し、



公明党 島野 均

市のクラウド化推進を

Q ①災害時の事業継続計画は。②コストダウン、行財政改革になる

A 市長 ①優先順位を想定した業務継続計画は、必要である。

市長公室長 ②府のシス

テムにのる形で進め、次に導入を検討する。

Q ①木津中学校南側の通学路は用水路があり、歩道がない。改修を

②木津中学校の自転車通学の条件を緩和せよ。

A 建設部理事 ①隣接地権者と協議する。教育長 ②引き続き、学校と保護者で協議する。

市長は2大施策へどう臨む

国の動きを注視しながら取り組む

連日報道されている消費増税・原発問題を

Q 市として主張したのか。

A 市長 発言はしていないが、「地方消費税

等の充実による安定財源の確保」の決議をした。

再稼働は国の考えを踏まえ、安全・安心を第一

に考えていく。

計画停電の対応は万全に

Q 市民生活だけでなく人命にもかかわる計画停電の対策は。

A 生活環境部長 関西電力とも協議して人

命第一に取り組む。



きつがわ未来クラブ 高味 孝之

のり面を生かしPRを

Q 木津駅から、よく見渡せる木津城公園ののり面に太陽光発電を

設置し、その収益を太陽光発電の助成金に当てて

A 建設部理事 今は考えていない。

若年認知症にも効果あり

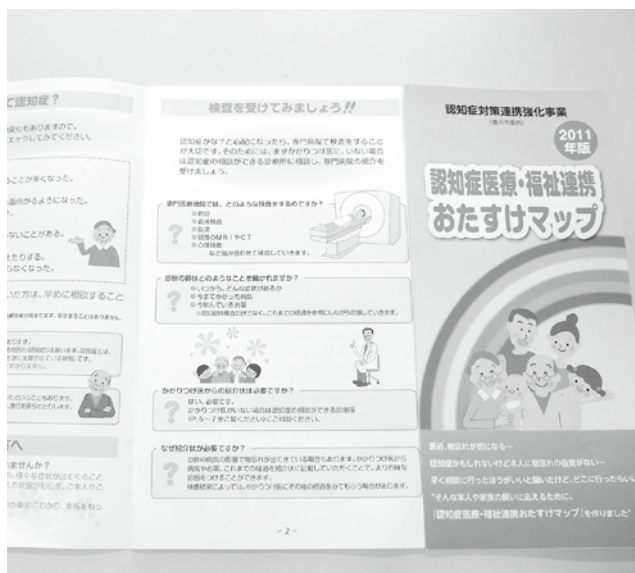
Q 認知症の早期発見、早期治療につながる、

かかり付け医で受診できる「おたすけマップ」を

作成し、各戸配布しては

A 保健福祉部長 ガイドブックを作成する方向で検討している。

他に、「府教委からの理事の増員は必要か」の質問をおこなった。



認知症の早期発見につながるおたすけマップ（豊中市）

市民の安心と安全の確保を

原発の再稼働は安全・安心が第一

Q 防災に関して7点。
市防災計画の見直しとハザードマップを予定通りに。防災行政無線のイメージは。愛大家の防災教室へ支援を。災害時の外国人対策は。防災倉庫を急げ。木津城址公園の安全確保を。危機管理室の体制を強化せよ。

原発ゼロへ4点。
市長が「通販生活」の原発アンケートに答えなかったのはなぜか。大飯原発再稼働に市長の思いは。自然エネルギー先進自治体へ。学校に設置する太陽光発電の拡充を。通学路の安全で2点。市内の通学危険箇所の

安全対策を。道路だけでなく全ての通学路の点検を。木津駅周辺に子どもが安心できる児童遊園を。
A 市長・関係部長 防災計画は予定通り進める。民間の原発アンケートには答えない。学校の太陽光発電は10kWを予定。



日本共産党

酒井 弘一

(他の答弁は紙面の都合上割愛した。)

消費税引き上げに反対を

Q 市長は、消費税引き上げが市民のくらしや営業に与える影響をどう考えるか。反対せよ。

A 市長 逆進性という問題がある。しかし、財源確保のためにやむを得ない。



原発ゼロをめざして

通学路における安全対策の充実を

危険箇所の改善は喫緊の課題

Q 歩行空間が確保されていない道路が、通学路に指定されているが対策は。

A 教育部理事 信号機や横断歩道の設置は、学校から木津署を通じて公安委員会へ要望した。

Q 児童への安全指導や教育の取り組みは。

A 生活環境部長 反省会、観光協会、プ

木津川アート2012

A 教育部理事 自他の生命尊重を基盤とし、生涯を通じて安全な生活を送れるよう、継続的に指導する。



さくら会

高岡 伸行

プロジェクトチーム、ボランティア、市職員で2月に開催した。毎回、より新鮮な木津川アートが展開できる内容を企画していく体制づくりが必要。

Q 木津川アート2012の概要は。

A 生活環境部長 期間中の土・日には、小

学校をテーマにした「授業風のワークショップ・給食として食事提供・課外授業」として当尾地域の魅力を巡るツアー等を企画。

Q 観光大使に市出身のAKB48の横山さんを。

A 市長 検討する。いづみ姫にも、市を大きく発信してもらいたい。



通学時の安全対策を

考えていない

コミュニティバス再編の考えは

Q コミュニティバスの利用者が減少している。①再編計画は。②利用者の少ない路線は。③山城線の朝夕増便・広域ルートの考えは。

時間やルートの見直しは考えていない。

A 市長公室長 ①再編なし。②ガイドラインを基本に対応。③運行

Q ①整備区域の完成は。②旧集落の整備時期は。③経済的に浄化槽が望ましい区域に対しての働きかけは。

事業の執行を問う

Q ①昨年度補正で減額された椿井大塚山古



谷川 光男

A 上下水道部長 ①30年度の予定。②市街

化区域の完了後に着工する。③理解を得よう努める。

墳の整備年度は。②旧山城支所の解体は。

A 教育長・市長 ①他の事業の進捗を見据えて検討する。②土地利用を含めて検討し、25年度に実施する。

他に、「通学路の安全対策と道路管理について」と「ふるさと木津川市の魅力を全国に」の質問をおこった。



コミバスの再編は



病児保育の対応は

柔軟な介護保険の運営を

上位機関に働きかけたい

Q 自宅を活用して気の合う仲間数人が月交替で各々の家で一緒に暮らし、数人分の介護保険を共同して使えば最期まで自宅で暮らせる。それを可能にして欲しい。

A 保健福祉部長 メリットのある方法だ。国や府に働きかけたい。

病児保育の実現を

Q 仕事中に呼び戻され、仕事に帰る事は無い。体調が悪くなった子どもを、病児保育担当の施設から病気の園児を保育園に迎えに行つて預かる。市でも実施せよ。

Q 仕事をたらい回しにしないワンストップ対応や、部署を越えての連携で住民要望を取りこぼさず可能にする努力をすべきだ。積極的に仕事を



曾我千代子

A 市長 できることから努力していきたい。

市職員の資質向上を

Q 仕事をたらい回しにしないワンストップ対応や、部署を越えての連携で住民要望を取りこぼさず可能にする努力をすべきだ。積極的に仕事を

をするよう自ら学習会を企画する土壌を作れ。これからの時代、変わらねば公務員は存続できない。

A 市長公室理事 サービス業であるので、住民のニーズに応じてその公務員である。効率で効果的な研修を実施したい。

観光や都市交流を視野に直売所を

建設の可能性を検討する

Q 23年度、直売所の組織づくりができなかった。いつになる。

A 建設部理事 今年度中に設立する予定である。

Q 足腰の強いゆるぎないものにするため、地産地消の推進計画の策定が必要だ。

A 市長 関係課を含め、策定の方で検討する。

Q 付加価値をつけた農産加工品を推進する支援として、集出荷施設建設予定地に農産加工場の併設を考えてほしい。

A 建設部理事 神童子区の集出荷場の予定。



民主改革クラブ
炭本 範子

協議する中で、必要があれば考えていく。

木津川の無堤防対策は

Q 3 河川合流から29 km 辺りは無堤防地域である。整備が必要と考えるが。

A 建設部理事 治水会を通して無堤防区域

の解消に向けた、護岸築堤と安全の確保を訴えていく。毎年、関係機関に要望活動をしている。景観に配慮した市域の河川整備を考えては。

A 市長 中身を精査し検討する。

Q 河川敷である堤外の竹やぶの浸食がひどい事や蛇籠の老朽化、税金等、問題が見えてきた。

A 建設部理事 確認をする。



地産地消の推進を

防災行政無線の取り組みは

戸別受信機は今後の課題と認識

Q 防災無線は市民に災害関係情報を迅速かつ確実に伝達するため必要である。①山城地域の戸別受信機で便利な機能の「お知らせ」等は今後どうなるのか。②防災無線の新設や故障等の対応は。③屋外拡声子局で正確に聞こえるか。またデ

ジタル戸別受信機を貸与すべきでは。

A 総務部長 ①屋外スピーカーのみ、今後の課題と認識する。②デジタル方式開始まで一定時期の新規設置、故障等に対応をする。③屋内は気象条件や機密性が高い家屋等で情報伝達ができ

ない場合も想定され、緊急速報メール・市・消防団等の情報伝達で複数発信をする。戸別受信機は避難所等へ設置する。

安心と信頼の市役所へ

Q 市民サービスの向上に危険予知活動「KY活動」を推進すべき。

①公用車での事故等や事務的ミスの件数と対策は。②「KY活動」を推進され再発防止に努める考えは。

A 市長公室理事 ①損害賠償は55件、事務的ミスの発生は10件。公用車の始業点検に努め、注意喚起をする。

②「KY活動」は重要と認識。議員の意見を参考に再発防止へ努める。



安心と信頼の市役所へ



民主改革クラブ
中野 重高

平成24年 第3回(9月)定例会予定

月	日	曜日	会 議 ・ 委 員 会
8月	24日	金	議会運営委員会 (議会招集告示)
	31日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等
9月	3日	月	本会議 (予備日)
	4日	火	総務文教常任委員会
	5日	水	厚生常任委員会
	6日	木	産業建設常任委員会
	10日	月	補正予算特別委員会
	11日	火	クリーンセンター建設特別委員会
	12日	水	本会議 一般質問
	13日	木	本会議 一般質問
	18日	火	本会議 一般質問
	19日	水	本会議 一般質問
	21日	金	決算特別委員会
	24日	月	決算特別委員会
	25日	火	決算特別委員会
	26日	水	議会運営委員会
	27日	木	本会議(閉会) 議案採決等
	28日	金	本会議 (予備日)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- 本会議・委員会は9:30からはじまります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の様式や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

全国市区議会 「議会改革度」調査

総合

ランキング

33位

全国の810市区
を対象に、日本経済
新聞社の産業地域研
究所が「議会改革度」
調査を実施。
調査は議会改革度
を「情報公開・住
民参加・議会運営」
の3点から評価し、
本市議会は総合33位
(前回74位)となった。
調査結果は日経グ
ローカルNo.196号
に掲載。

地方議会の改革の
動きが全国的に広
る中、今回のランキ
ングとなった。
調査結果は日経グ
ローカルNo.196号
に掲載。

わたしの意見

このコーナーへの投稿を
お待ちしております。(220字以内)



喜多 保博 さん
(加茂町銭司)

通学バスの 運賃無料化を

当、銭司地区には、小学生が2名、加茂小学校に通っており、片道百円のコミュニティバスに乗って登校しています。なお、長期休みには運行されません。

今年度から、当尾地区の児童が無料のスクールバスで、南加茂台小学校に通っているという聞きまし。夏休みの登校日には運行されるそうです。バス通学の理由は、同じ市内の小中学生なのに、何故このような差があるのでしょうか。今一度、教育委員会様、市長様には、この事実を目を向けてもらえればと、願っております。



山崎江津子 さん
(山城町上粕)

孫との 関わりの中で

同じ町内に住む孫は小学1年生。毎日元気に通学しています。
先日、下校後に上級生と遊ぶからと、鉛1袋持参で行った時の事。5時でサヨ

ナラした後、上級生がその鉛を届けに来てくれたのです。孫には「皆で分けや」と持たせたのに遊びに夢中ですっかり忘れていたのでしょう。お手紙も添えられ、その行儀良さにとても感心しました。そんな上級生や友達や先生方に学ぶ事がこれからいっぱいあります。地域の方々に見守られながら、子どもがまっすぐ成長し明るい社会の一員となる事を切に願うばかりです。



酒田 慎吾 さん
(兜台)

未来への扉

私は、高の原小学校の「放課後子どもプラン」のスタッフとして、小学生にジャグリングを教えています。自分なりに一生懸命練習して、出来なかった技が出

来るようになったとき子どもたちのほきれんばかりの笑顔には、日頃のストレスも飛んでいくような気がします。
新しいチャレンジを上達のチャンスと捉える姿勢は、スポーツでも勉強でも将来の仕事においても大きなアドバンテージとなります。子どもたちの可能性の芽を摘まないように、様々な学びの機会を与えてあげることが大切だと思います。

お知らせ

9月定例会は8月31日(金)からはじまります。
詳しい日程は、19ページをご覧ください。

編集後記

世の中には色々な意見があり、「貴方」と逆の考えを持つ「誰か」もいます。そういった意見がある中、市民・国民のためを考え、議員は総合的に判断し活動しています。

この議会だよりも締め切りに追われつつも、色々な指摘や意見を参考にしながら、ページ数や予算を考慮し、紙面を作成・編集しました。このような姿勢だからこそ議会改革ランキングも高い評価をいただけているのだと思います。

今後も試行錯誤しながら、より良い議会だよりをめざします。
(兎本尚之)

広報編集委員会

委員長 高 味 孝之
副委員長 呉 羽 真弓
委員 高 岡 伸行
委員 河 口 靖子
委員 兎 本 尚之
委員 柴 田 はすみ
委員 西 山 幸子
委員 片 岡 廣